

病床数適正化支援事業について

1 事業の概要

- ・医療機関の経営状況の急変に対応する国の緊急支援パッケージとして令和6年度補正予算により事業化
- ・病床数の適正化（減床）を進める医療機関に給付金を支給するもの（減床1床あたり4,104千円）

2 群馬県への国の内示

- ・群馬県の要望額約30億円（753床分）に対し、国の内示は約4億円（100床分）（全国の要望額 約2千億円（約5万床）に対し、国の内示は約294億円（約7千床）
- ・医療圏ごとの対象病床数は下表のとおり（対象となった医療機関の情報は非公表）

医療圏	一般病床		精神病床	計
	病院	診療所		
前橋	7	2	0	9
伊勢崎	0	0	6	6
渋川	0	0	10	10
高崎・安中	12	1	0	13
藤岡	0	0	0	0
富岡	2	0	0	2
吾妻	14	2	0	16
沼田	11	0	0	11
桐生	15	1	0	16
太田・館林	8	0	9	17
計	69	6	25	100

※上表は国の内示に基づき対象となる病床を医療機関ごとに配分したものであり、実際の申請状況等によっては削減数が変更になる場合がある。

- ・対象となった医療機関が給付金の支給を受けるためには、令和7年9月末までに病床を削減する必要がある。

令和 7 年度吾妻保健医療圏における医療機能等の現況

1 地勢、人口

(1) 地勢

本県の北西部に位置し、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町の 6 町村により構成されている。山間地域であり、3 つの保健医療圏（高崎・安中、渋川、沼田）及び長野県と隣接している。

(2) 人口

県内で人口が最も少ない保健医療圏であり、人口密度も最も低い。

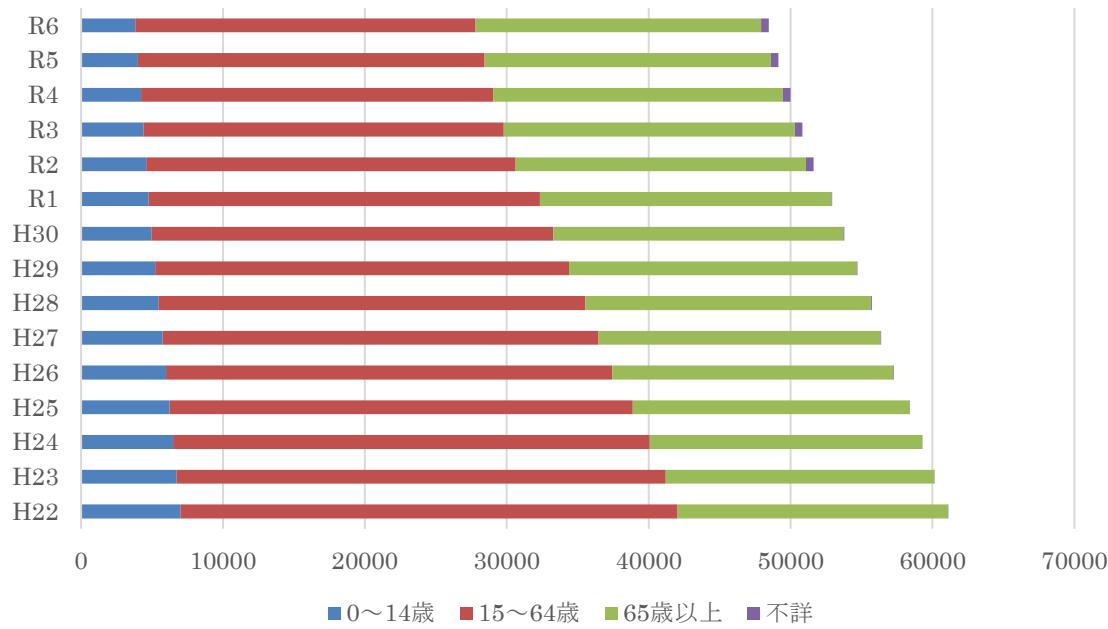
人口は年々減少しており、65 歳以上の人口割合は、県全体を上回っている。

	吾妻保健医療圏	県全体	県全体に占める割合
面積	1, 278. 55 km ²	6, 362. 28 km ²	20. 1%
人口	48, 463 人	1, 889, 525 人	2. 6%
人口密度	37. 9 人/km ²	297. 0 人/km ²	—
0～14 歳人口割合	8. 0%	10. 9%	—
65 歳以上人口割合	42. 0%	31. 3%	—

出典：群馬県年齢別人口統計調査結果（令和 6 年 10 月 1 日現在）

※以下、人口については同出典による。

吾妻保健医療圏における年齢 3 区分別人口の推移



2 医療機能の現状

(1) 医療機関数

人口 10 万人当たりの医療機関数について、病院は県全体を上回るもの、一般診療所及び歯科診療所は下回っている。

	吾妻保健医療圏		県全体	
	医療機関数	人口 10 万人当たり	医療機関数	人口 10 万人当たり
病院	9	18.6	127	6.7
一般診療所	36	74.3	1,560	82.6
歯科診療所	17	35.1	970	51.3

(令和 7 年 4 月 30 日現在)

(2) 病床数

令和 7 年 3 月末における当医療圏の既存病床数は、基準病床数を上回っているため、原則として新たな病床の整備は困難な状況にある。

保健医療計画 (令和 6 年 4 月 1 日施行)		令和 7 年 3 月 31 日現在				
基準病床数 (A)	既存病床数	既存病床数			差 (B-A)	(参考) 特 定 病床数
		合 計 (B)	一般病床	療養病床		
365	748	748	359	389	383	23

		吾妻保健医療圏		県全体	
		病床数	人口 10 万人当たり	病床数	人口 10 万人当たり
一般 ・ 療 養	基準病床数	365	753.2	16,001	846.8
	既存病床数	748	1543.4	17,229	911.8
	一般病床	359	740.8	13,366	707.4
	療養病床	389	802.7	3,863	204.4
精神病床		223	460.1	4,977	263.4
結核病床		0	—	65	3.4
感染症病床		4	8.3	52	2.8

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

※精神・結核・感染症の各病床数は全県一区

(3) 介護老人保健施設及び特別養護老人ホームの定員数

10万人当たりの介護老人保健施設定員数及び特別養護老人ホーム定員数は、いずれも県全体を上回っている。

	吾妻保健医療圏		県全体	
	定員数	人口 10万人当たり	定員数	人口 10万人当たり
介護老人保健施設	180	371.4	6,516	344.8
特別養護老人ホーム	434	895.5	12,982	687.1

(令和7年5月1日現在)

(4) 病床利用率

当医療圏の全体の病床利用率は、県全体を下回っている。

病床利用率	吾妻保健医療圏(%)	県全体 (%)	県全体との差
総数	56.4	77.5	▲21.1 ポイント
精神科病院	85.9	87.9	▲2.0 ポイント
一般病院	50.4	75.8	▲25.4 ポイント
一般病床	39.1	70.2	▲31.1 ポイント
療養病床	69.3	84.7	▲15.4 ポイント
精神病床	-	91.4	-
結核病床	-	29.6	-
感染症病床	183.7	451.1	▲267.4 ポイント

出典：群馬県健康福祉統計年報（令和7年刊行）※令和4年データ

(5) 平均在院日数

当医療圏の平均在院日数は、すべての種別の病床で県全体を上回っている。

平均在院日数	吾妻保健医療圏(日)	県全体 (日)	県全体との差
総数	66	28	38
精神科病院	874	267	607
一般病院	50	24	26
一般病床	30	17	13
療養病床	160	105	55
精神病床	-	355	-
結核病床	-	77	-
感染症病床	16	11	5

出典：群馬県健康福祉統計年報（令和7年刊行）※令和4年データ

(6) 救急医療

ア 初期救急医療機関

吾妻郡医師会による休日当番医制を実施している。夜間急患については、病院群輪番制の当番病院が対応している。

イ 二次救急医療機関

群馬県保健医療計画の基準を満たし、計画に掲載している当医療圏の二次救急医療機関は6か所である。(令和6年4月1日現在)

ウ 救急告示医療機関、救急医療協力機関

当医療圏の救急告示医療機関は5か所が認定を受け、救急医療協力機関は3か所が指定されている。(令和6年6月1日現在)

エ 小児救急

夜間及び休日日中の二次救急については、県の小児救急医療支援事業により、北毛地区の2病院の輪番制で対応している。

(7) 災害医療

当医療圏では災害発生時に、地域で中心的な役割を担う地域災害拠点病院が1病院整備されている。

	医療機関名	DMAT チーム数
地域災害拠点病院	原町赤十字病院	1

(令和7年4月1日現在)

(8) 在宅医療

在宅医療の担い手である在宅療養支援診療所、在宅療養支援歯科診療所、訪問薬剤指導を実施する薬局、訪問看護ステーションの当医療圏の人口10万人当たりの施設数はいずれも県全体と比較し下回っている。

	吾妻保健医療圏		県全体	
	施設数	10万人当たり	施設数	10万人当たり
在宅療養支援診療所	1	2.1	257	13.6
在宅療養支援歯科診療所	2	4.1	80	4.2
訪問薬剤指導を実施する薬局	2~4	4.1~8.3	215~223	11.4~11.8
訪問看護ステーション	5	10.3	371	19.6

出典：関東信越厚生局群馬事務所届出状況（令和7年4月1日現在）

レセプト情報・特定健診等情報データベース（令和6年度）*

群馬県健康福祉部介護高齢課調べ（訪問看護ステーション数：令和7年4月1日現在）

*「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」により、集計数が少数の場合に非公開となる情報が含まれるため、公開情報から推定される範囲の数値を記載

3 入院患者の状況

(1) 入院患者数

当医療圏と県全体の一日における医療機関の入院患者数を人口 10 万人当たりで比較すると、当医療圏は県全体より約 430 人上回っている。

	吾妻保健医療圏		県全体	
	患者数	人口 10 万人当たり (R6. 10. 1 現在)	患者数	人口 10 万人当たり (R6. 10. 1 現在)
総数	691	1, 426	18, 888	1, 000
病院	691	1, 426	18, 540	981
有床診療所	0	0	348	18

出典：令和 3 年群馬県患者調査

(2) 入院患者における流出患者割合、流入患者割合

当医療圏に居住する患者のうち、他医療圏の医療機関に入院した患者は 33.5% で、渋川保健医療圏(15.9%)、前橋保健医療圏(7.5%)、沼田保健医療圏(5.6%)等への流出がある。

また、当医療圏の医療機関に入院した患者のうち、他医療圏に居住する患者は、31.7% で、県外(9.6%)、渋川保健医療圏(5.6%)、沼田保健医療圏(5.5%)、高崎・安中保健医療圏(4.5%)等からの流入がある。

	流出患者割合	流入患者割合
入院患者	33.5%	31.7%
一般病床	44.8%	13.0%
療養病床	16.4%	51.7%

出典：令和 3 年群馬県患者調査

(3) 疾病別入院患者割合

ICD10 疾病分類別の入院患者構成割合を県全体と比較すると、当医療圏は、県全体の傾向と概ね一致している。

ICD10 疾病分類 (章別)	吾妻保健医療圏	県全体
1. 感染症及び寄生虫症	1. 4%	1. 4%
2. 新生物	6. 8%	9. 6%
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0. 6%	0. 6%
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1. 1%	2. 2%
5. 精神及び行動の障害	29. 4%	22. 8%
6. 神経系の疾患	4. 9%	7. 5%
7. 眼及び付属器の疾患	0. 1%	0. 5%
8. 耳及び乳様突起の疾患	0. 0%	0. 2%
9. 循環器系の疾患	17. 3%	16. 1%
10. 呼吸器系の疾患	7. 9%	7. 2%
11. 消化器系の疾患	4. 1%	5. 4%
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	1. 1%	1. 1%
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5. 5%	6. 2%
14. 腎尿路生殖器系の疾患	5. 1%	4. 8%
15. 妊娠、分娩及び産じょく	1. 1%	1. 5%
16. 周産期に発生した病態	0. 6%	0. 6%
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0. 6%	0. 6%
18. 症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見 で他に分類されないもの	0. 6%	0. 5%
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	11. 1%	10. 6%
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健 サービスの利用	0. 7%	0. 2%
22. 特殊目的用コード (新型コロナウイルス感染症 (疑いを含む))	0. 0%	0. 3%
不詳	0. 0%	0. 1%

※「20. 傷病及び死亡の外因」は疾病では無いため、集計対象外 出典：令和3年群馬県患者調査

(4) 死因別死亡数

当医療圏の死亡数を死因別で見ると、第1位「悪性新生物」と第2位「心疾患」は県全体と一致しているが、第3位は「肺炎」になっている。

	吾妻保健医療圏	県全体
第1位	悪性新生物 (22.5%)	悪性新生物 (22.6%)
第2位	心疾患 (17.7%)	心疾患 (14.7%)
第3位	肺炎 (10.6%)	老衰 (10.4%)
第4位	老衰 (8.9%)	脳血管疾患 (7.1%)
第5位	脳血管疾患 (6.8%)	肺炎 (5.7%)

出典：令和5年群馬県人口動態統計概況（確定数）